

額田木の駅プロジェクト

令和2年度 事業報告書



目次

- 1、主な活動報告
- 2、出荷者登録と出荷状況
- 3、森の健康券の利用状況
- 4、事業推進の取り組み
- 5、収支報告

1、主な活動報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、毎月第一木曜日に実施している定例実行委員会を行えないことが多かった。行事や視察の受け入れなども無かったものの、ステイホームで山に向かう方が多かったためか出荷のペースは早く、年末には例年通り約1000tの出荷があった。

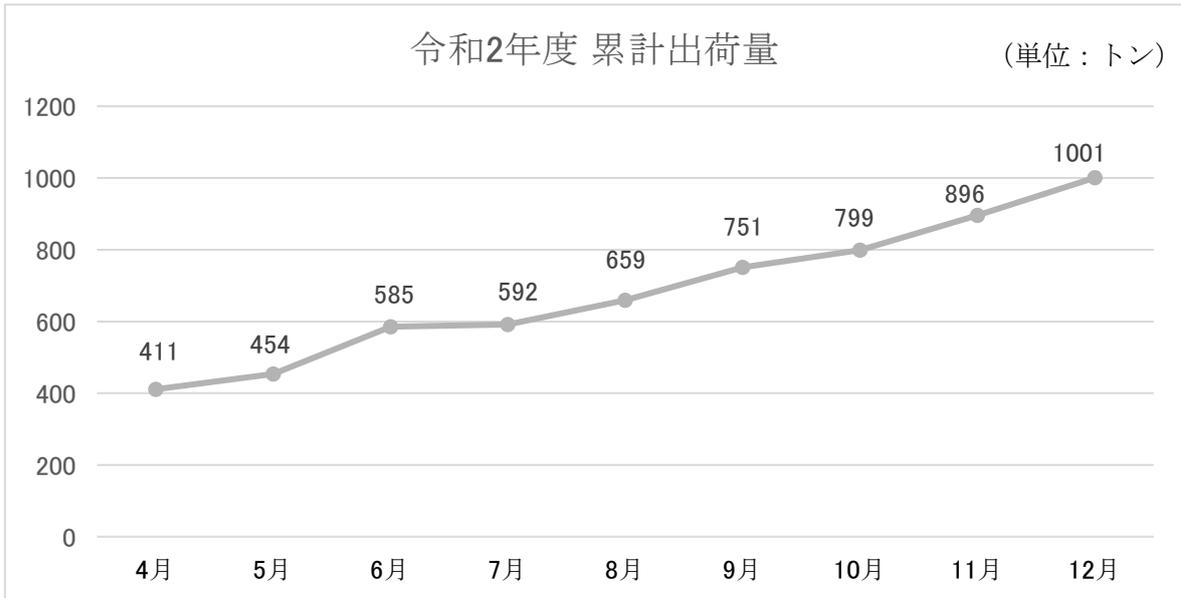
日時	活動内容	主な協議事項、実施内容
4月2日	役員会	新型コロナウイルス感染予防のため役員会のみ実施
5月7日	第61回定例実行委員会	書面開催にて決算報告、事業計画および予算承認
6月4日	第62回定例実行委員会	森の健康券のデザインについて、前期分発券開始
7月2日	第63回定例実行委員会	出荷時のルールについて（再確認）
8月6日	定例実行委員会（延期）	新型コロナウイルス感染予防のため延期
9月3日	第64回定例実行委員会	間伐こもれび会の積み木寄贈報告
10月7日	定例実行委員会（延期）	型 коронавируса 感染予防のため延期
11月5日	第65回定例実行委員会	後期デザイン報告、形埜小木の駅体験の計画
11月24日	形埜小学校木の駅体験	間伐、搬出の体験と森の健康券の発券
12月2日	定例実行委員会（延期）	新型コロナウイルス感染予防のため延期
1月6日	定例実行委員会（延期）	新型コロナウイルス感染予防のため延期
2月3日	定例実行委員会（延期）	新型コロナウイルス感染予防のため延期
3月3日	定例実行委員会（延期）	新型コロナウイルス感染予防のため延期

2、出荷者登録および木材の出荷状況

高齢等の理由で退会する方もあったが新規登録者も若干名あったため、令和2年度末時点での出荷登録者は111名となった。うち実際に年度内に出荷した人数は39名であり前年度の38名と同程度であった。

令和2年度予算として1000t分の買取を計画したところ12月末時点で目標に到達し、最終的に計画通り1001tの買取を行った。プロジェクト開始以降、6年間でのべ6070tの木材が出荷された。

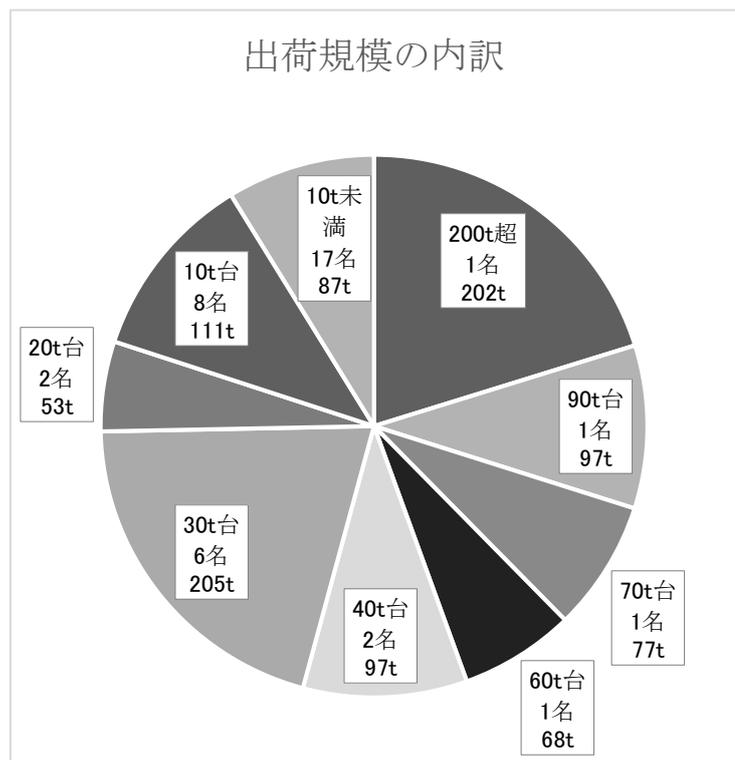
■出荷トン数の推移



■出荷者の地域別分布

地区	人数	前年度比
形埜地区	35名	+1名
宮崎地区	16名	-2名
豊富地区	36名	-1名
下山地区	10名	+1名
額田地域外	14名	±0名
合計	111名	-1名

■出荷規模の内訳



3、森の健康券利用状況



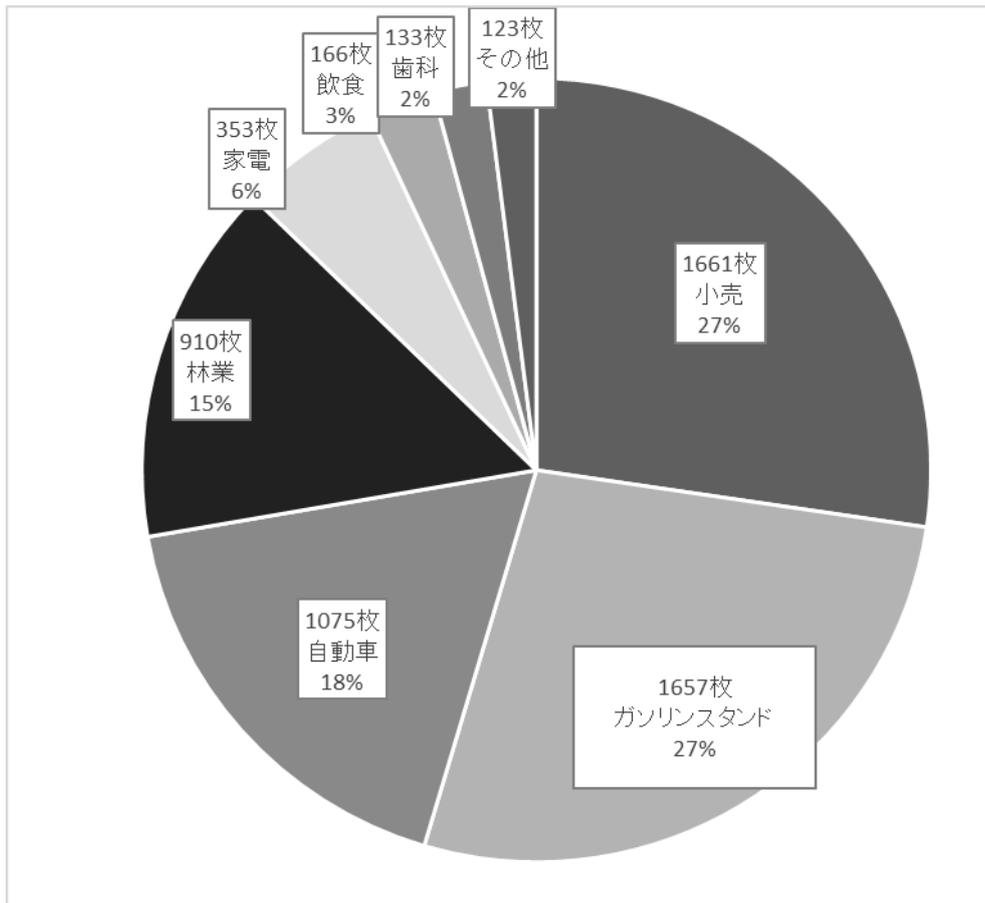
(前期デザイン。原画は形埜小の山内和喜君)



(後期デザイン。原画は宮崎小の藤井香穂さん)

- 流通期間 令和2年6月4日～令和3年3月31日
- 登録店舗数 61店舗 (前年度比+3店舗)
- 発券枚数 6079枚 ※607万9千円相当
- 回収枚数 6078枚(99%) …未利用枚数1枚
- 商店間の2次利用による追加経済効果 73万円 (+20%)
- 業種別内訳 (最終換金地点の内訳)

コロナ禍の影響か例年よりも飲食店、旅行業等での利用は少なく、食品を扱っている小売店での利用が多い傾向にあった。



4、事業推進の取り組み

木の駅プロジェクトの継続した発展のために、間伐推進や森林環境の保全につながる様々な取り組みを実施した。なお、コロナ禍のため例年実施している研修や視察などは行わなかった。

■木の駅体験

11月24日に形埜小学校の5年生を対象に木の駅体験を実施した。間伐、搬出、森の健康券の計算などを行った。

■積み木寄贈

また、間伐こもれび会が市内保育園5か所（六ツ美中保育園、六ツ美南保育園、福岡保育園、福岡南保育園、若松保育園）に額田産の木を使った積み木寄贈を行う際に、額田木の駅プロジェクトのPRにご協力いただいた。（写真左：若松保育園）



5、令和2年度収支報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

■収入の部

科目	内訳	予算額	決算額	差額	備考
売上	チップ材売上	3,465,000	4,653,564	1,188,564	チップ用材
	その他売上	660,000	619,292	-40,708	薪用、杭用等
負担金収入	岡崎市負担金	3,431,000	3,406,096	-24,904	1000トン×3,000円 印刷費、消耗品費、郵送料
会費収入	出荷者会費	100,000	21,000	-79,000	
事務手数料	出荷事務手数料	315,000	315,315	315	地域通貨発券料×5%
その他	雑収入	0	10,015	10,015	木の駅体験料、利子等
前期繰越金		805,585	805,585	0	
収入計(A)		8,776,585	9,830,867	1,054,282	

■支出の部

項目	内訳	予算額	決算額	差額	備考
地域通貨	地域通貨	6,300,000	6,306,300	6,300	1001t うち 300万円を市負担
	地域通貨印刷費	220,000	173,800	-46,200	市負担
普及啓発費	チラシ等印刷費	35,000	10,482	-24,518	市負担 事業報告書等
消耗品費	事務用品等	30,000	36,922	6,922	市負担
	のぼり・ポール	90,000	78,650	-11,350	市負担
賃借料	土場使用料	100,000	100,000	0	10,000円×10名
通信費	郵送料	56,000	106,242	50,242	市負担
人件費	事務局長人件費	396,000	396,000	0	33,000円×12か月
	地域通貨清算人件費	180,000	164,400	-15,600	
租税公課	法人税・市県民税	71,000	71,000	0	
その他	事業推進費	120,000	70,000	-50,000	形埜小体験指導費、積木寄贈PR費用
	振込手数料・両替手数料	8,000	8,855	855	
	予備費	1,170,585	5,324	-1,165,261	伝票作成費
支出計(B)		8,776,585	7,527,975	-1,248,610	

収支差額(A-B)	0	2,302,892	2,302,892	
-----------	---	-----------	-----------	--

額田木の駅プロジェクト令和2年度事業報告書

発行：令和3年6月

額田木の駅プロジェクト実行委員会 事務局

TEL : 0564-77-7717 nukata@kinoeki.org